

## 今月の ひとこと

ときどき、日本の年金制度は大丈夫だという話を聞きます。それはその通りで「制度」は安泰なのだろうと思います。しかし、このメッセージがごく普通の生活者に「だから老後のことは心配しないでいい」という印象を与えているとしたら大きな問題です。多くの人にとって重要なのは「いつから、いくらもらえるのか」ということであって、制度が持続できるかどうかではないのです。当然、「年金は大丈夫」と聞けば、「老後は国がかなり面倒をみてくれる」と考えてしまうことになるのです。一番、大切なことははっきりと「将来の自分はいまの自分が支えるよりほかない」、「年金はおこづかい程度」というメッセージを伝えることです。それがあって初めて、「では、どうやって運用をすればいいのか」という知識に対するニーズが生まれるのではないのでしょうか。

~~~~~

拙著「波乱相場を黄金シナリオに変える資産運用法〜かんたんすぎてもみません」の紹介動画を作りました。各章ごとに6〜7分程度の動画でポイントを解説しています。

[http://www.i-owa.com/diary/diary/2016/10/post\\_792.html](http://www.i-owa.com/diary/diary/2016/10/post_792.html)

~~~~~

FACEBOOK上でクラブ・インベストライフの仲間が活発な議論をしています。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください（2016年10月12日現在で参加者数は3347名です）

## クラブ・インベストライフとは？

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分はいまの自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているので、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

## <FACEBOOK、TWITTERへの 投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものとしてください
3. 企業広告はご遠慮ください

## I-Oウェルス・アドバイザーズ のメール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

[mag@i-owa.com](mailto:mag@i-owa.com)

毎月15日配信 無料

## Facebook

Facebook上のグループ、クラブインベストライフ  
<http://www.facebook.com/groups/investlife/>

Facebookへの登録が必要です。リクエストボタンを押して入会申し込みをしてください。

[Facebookへはこちらをクリック](#)

Twitter上のグループ  
クラブインベストライフ  
[http://twitter.com/c\\_investlife](http://twitter.com/c_investlife)

Twitterへの登録が必要です

[@c\\_investlifeさんをフォロー](#)

## Mission 4 Presents 1日で本当に大切なことが学べる特別セミナー — 「惑わされない資産運用」 第二回：市場に惑わされない

講演：岡本 和久



2016年7月24日、東京都台東区浅草橋のヒューリックカンファレンスにおいて馬淵治好さん、竹川美奈子さん、大江英樹さんと私のMission 4（四人の伝道師）が集結、惑わされない資産運用についてマラー日かけてお話をしました。先月の馬淵さんの講演紹介に続いて、今月は私のお話をご紹介します。テーマは「市場に惑わされない」です。馬淵さんの先月の記事は以下でお読みいただけます。

([http://www.investlife.jp/img/IL20160915\\_Mabuchi\\_Speech.pdf](http://www.investlife.jp/img/IL20160915_Mabuchi_Speech.pdf))

## 新連載 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸氏



トリビア研究家の末崎さんによる新連載です。「あの人、ものしり」と言われること請け合いです。今月のトリビア ★緑の黒髪とは ★ダヴィデ像の左肩に乗っているのは？ ★破天荒 ★足を洗う（最初に足を洗ったのは誰？） ★元の木阿弥（の由来） ★柿（かき）と柿（こけら）の違い ★下馬評（の語源） ★ペンネームの由来いろいろ

## 中国がわかるシリーズ34 王安石の改革（上）

ライフネット生命保険株式会社 代表取締役会長兼CEO、出口 治明氏

宋の神宗により抜擢された王安石による改革、第一回です。

## I-OWAマンスリー・セミナー・夏休み特別企画「大人と子供のためのマネー教室」講演より「ピギーちゃんのハッピー・マネー®教室」

講演：岡本 和久 レポーター：赤堀 薫里



2016年8月に開催された夏休み特別企画「大人と子供のためのマネー教室」での講演内容です。四歳から小学校三年生までを対象としたお話です。お金はどうして大切か、お金と感謝の関係、お金の歴史、ハッピー・マネー®四分法などにつきわかりやすくお話ししました。

- 2016年09月10日発行 Vol.165
- 2016年08月15日発行 Vol.164
- 2016年07月15日発行 Vol.163
- 2016年06月15日発行 Vol.162
- 2016年05月16日発行 Vol.161
- 2016年04月15日発行 Vol.160
- 2016年03月15日発行 Vol.159

## I-OWAマンスリー・セミナー・夏休み特別企画「大人と子供のためのマネー教室」講演より「子どもへの金銭教育を考える」

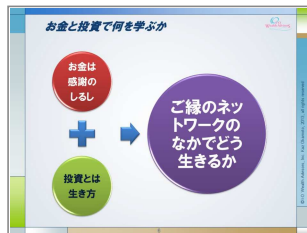
講演：岡本 和久 レポーター：赤堀 薫里

### ウェブ化以前のバックナンバー

2012年12月までに発行されたインベストラ이프をご購入いただけます。



購入・詳細



夏休み特別企画「大人と子供のためのマネー教室」での講演内容の一部をご紹介します。マネー教育には家庭での大人と子供のコミュニケーションが極めて大切であることを強調しました。

## 参考データ・コーナー

### 基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

4資産型の下げ幅の方が2資産型より小さいのが目立ちます。

### 投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

今月は純資産額トップ20投信のパフォーマンスなどを比較していただきました。

## I-OWAたより

### 岡本和久のI-OWA日記

★「波乱相場を黄金シナリオに変える資産運用法」の紹介動画を作りました ★新橋演舞場でGOEMONを観劇 ★ここ、自由が丘では女神祭り ★懐かしの天龍で大餃子 ★今年、初めてのサンマ ★たちばなの明石焼き ★神戸の横尾中学校で出張授業 ★長寿蔵で楽しいひと時 ★我が旧友と久しぶりにギターで遊ぶ。また、楽しからずや ★私の好きな広尾・恵比寿のラーメン・シリーズ① ★資産運用こぼれ話：プロとアマの違い ★I-OWAマンスリー・セミナー（第132回）

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

### セミナー案内

11月20日（日）12：30～16：30 I-OWAマンスリー・セミナー（134回）会場：東京都渋谷区広尾1-8-6-7F（当社オフィス）  
「江戸に学ぶ「和」の精神と企業経営（下）」（岡本 和久）、「企業再生ビジネス入門（仮題）」（慶應義塾大学経済学部教授、アスパラントグループ株式会社シニアパートナー 川本 明氏）、フリー・ディスカッション&懇談会、スポット受講料：教室での受講は10000円＋税 予約必須、動画での受講は5000円＋税

12月18日（日）13：30～16：30 I-OWAマンスリー・セミナー（135回）特別イベントにつき非公開です

20017年 1月15日 I-OWAマンスリー・セミナー（136回）会場：東京都渋谷区広尾1-8-6-7F（当社オフィス）「日本証券市場の黎明期」（岡本 和久）、「2017年の景気・金融市場を占う（仮題）」（ブーケ・ド・フルーレット代表 馬淵 治好氏）、フリー・ディスカッション&懇談会、スポット受講料：教室での受講は10000円＋税 予約必須、動画での受講は5000円＋税 2月19日 I-OWAマンスリー・セミナー（137回）

会場：東京都渋谷区広尾1-8-6-7F（当社オフィス）「明治・大正時代の日本証券市場」（岡本 和久）、「個人投資家のためのエンゲージメント（仮題）」（明治大学商学部教授 三和 裕美子氏）、フリー・ディスカッション&懇談会、スポット受講料：教室での受講は10000円＋税 予約必須、動画での受講は5000円＋税

[詳細はこちらをご覧ください。](#)





Mission 4 Presents  
1日でも本当に大切なことが学べる特別セミナー  
「惑わされない資産運用」  
第二回：市場に惑わされない

講演：岡本 和久



<名人芸>

1980年の夏であった。

私のもとに、ある著名な老ポートフォリオ・マネジャーから電話があり、日立製作所の株式につきコメントを求められた。同社株は当時、だれしも割安であることは認めていたが、万年割安株として片付けられ、ほとんどの人が見向きもしない銘柄であった。株価も300円以下に放置され続けており、しかも、誰もそのことを不思議とは思っていなかった。私は同社のファンダメンタルズは改善しており、今期は増配になるもようであることなどを話した。その結果、彼は大量の日立株を買い付けた。

その後、同社株は上昇に転じ、翌年、夏場にかけてそのピッチは加速した。しかるに、彼は8月に入るや、900円越えでほとんど保有株式を売却してしまった。野も山も1,500円説を唱えていた時



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

である。果して、同月 12 日、日立株は 947 円の史上最高値をつけ、その後、翌年にかけて、500 円まで暴落した。まさに名人芸を見る思いであった。

岡本和久著「勝者のゲームを闘う法 ～ 株式分析の実践技法」(東洋経済新報社 1990 年)より

このポートフォリオ・マネジャーはおそらく、長年の経験と調査によって、実体面から見た日立株のあるべき株価水準を頭の中に持っていたのであろう。そして、現実の株価が 300 円なら安い、900 円では高いと判断したのであろう。

日々、変動する株価は影である。影の動きに超然としつつ、冷静に株式の価値を把握し、その時の相場環境において、株価が割高か割安かを判断してゆく。証券アナリストの仕事は、揺れ動く影(株価)を、実体の変化(株式の価値)と光の位置の変化(相場心理)の二つの要因に分けて分析することにあるといえよう。これらの二つの要因を把握してこそ、影(株価)の動きが理性的に判断できる。影のみを見ていても決して、影の動きは予測できないのである。

揺れ動く影に惑わされることなく、株式の実体価値がどのように変化しているかを把握してゆくことが、株式投資において、長期的かつ継続的に「勝者」として勝ち残るための条件である。そして、この道も奥義を極めるには、芸術や武術などと同じく、長い期間にわたるたゆまぬ修行と尽きることのない情熱を必要とするのであろう。

### <道端のコイン>

1975 年のころです。私の若き日の証券アナリストの師匠はジェームズ・ローゼンワルド氏という人でした。彼はベンジャミン・グレアムの最初の弟子で 1929 年の大暴落の時にすでに証券アナリスト(当時は統計家と呼ばれていた)として活躍していたというのが自慢でした。60 年代から日本株を「シンデレラ・ストック」として注目していました。電卓もあまり普及していない時代で、いつも胸ポケットに計算尺を持っていました。彼の秘書しか読めないようなヨロヨロの字でレポートを書きました。そして、お客のもとと一緒にいったものです。

彼はお客にも私にもいつもこのようなことを言っていました。

道端に金貨が落ちていたとしよう。最初に通った人は見逃すかも知れない。二人目も気づかないかも知れない。しかし、本当に価値のあるものは、必ず、いつか、誰かが発見するものだ。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

本当にそうだなあと思います。

### <本音と現実>

株式を売買するほとんどの方の「本音」は、①できるだけたくさん、②できるだけ早く、③できるだけ安全に儲けたいということでしょう。しかし、投資収益とは、①そこそこの利益を、②長い時間をかけて、③リスクを取った見返りに与えてもらえるものです。これが証券投資の現実です。

つまり、証券市場に参加する多くの方の本音と、証券市場が与えてくれる現実の間に大きなギャップがあるのです。三つの「本音」をすべて満たすことはできません。そこで何かを犠牲にしなければならないのですが、多くの方は、「できるだけたくさん、できるだけ早く」を優先させて、「できるだけ安全」を後回しにします。

「株式投資はリスクが大きい、だから、できるだけ短期で売買した方が安心だ」と考える個人投資家が非常に多いのです。しかし、この論理は明らかに誤りです。正しくは「株式投資はリスクが大きい。だから、大きな利益を狙うのではなく、そこそこのリターンを長い時間をかけてとる」ことが必要なのです。少しずつ時間をかけて資産を増やしていけば資産運用はとても簡単でハラハラ・ドキドキするようなものではありません。

三つの本音のうち①と②を優先して③の「できるだけ安全に」を犠牲にした取引は投機です。それにもかかわらず「危険だからできるだけ短期で売買する方がよい」と多くの人が思っていることで、知らず知らずのうちに投機への道を歩んでしまうのです。投機で儲かったとしてもそれは「運が良かった」だけの話です。証券市場の現実を見据えて合理性のある運用をすることこそ投資で成功をする唯一の方法です。

### <残り物には福がある>

株式は売買で儲けるものではない。保有して儲けるものです。狩猟民族のように森に行って獲物がいたらそれを打ち捕るのではない。農耕民族のように種を捲き、日に当て、水や肥料をやって時間をかけて育てるものです。マーケットという森に入っていく、面白そうな銘柄を見つけて売買するのではない。経済という畑に自分の将来のためのお金を種として捲き、それが芽を出し育つのを助けるのが投資です。

株主は会社の資産から借金をすべて返済した「残りもの(株主資本)」を所有します。株主は企業のオーナーです。そして、株主は売上からすべての費用を差し引いた「残りもの(内部留保と配当



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

金)」を得ます。毎年、内部留保は積み上がり、残り物はだんだん増えていきます。株主が保有する株主資本は増加します。しかし、残り物だから「いくら残るかわからない」というリスクがあるのです。でも、残り物だから福もあるのです。

ただし、一つの企業だけを保有していると不幸にもその企業が倒産することもないとは言えません。しかし、多くの企業を保有していればすべてが倒産する可能性は少ないでしょう。また、複数の企業を保有していてもある1年だけを見れば全体の収益が落ち込むこともあるでしょう。しかし、長期にわたって収益が落ち込み続けることもないでしょう。なぜなら世界の人口は増加し、人々はよりよい生活を求めているからです。技術革新も起こり、グローバル化に対応して世界のインフラ投資も進みます。ここになぜ、「分散投資」と「長期投資」が大切かという理由があります。

### <短期投資はマイナスサム・ゲーム>

株式投資というものは売買で儲けるものだという誤った常識を持っている方が非常に多い。しかし、短期投資はマイナスサム・ゲームです。

Aさんが持っている株式をBさんに1,000円で売ります。Bさんは翌日、それをCさんに1,100円で売ると、100円儲かります。Cさんはさらに翌日、それをDさんに1,200円で売れば、Cさんも100円の儲けです。そして、DさんはEさんに1,300円で売ればDさんも100円の儲けとなります。この4回の取引で100円ずつ設けた人が4人できたわけです。



しかし、もし、Aさんがお祖父さん、Bさんがお父さん、Cさんがお母さん、Dさんが息子だったとしたらこの家族全体でいったいいくら儲けがあったのでしょうか。もちろん、全体としては一銭の儲けにもなっていません。

もし、隣の家の親切なおじさんがEさんからこの株式を1,500円を買ってくれれば、ファミリーとしての利益が実現します。しかし、Eさんがこれをじっと持っている限りゼロサム・ゲーム、手数料を入れればマイナスサム・ゲームなのです。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

大切なことは、短期間の場合には企業の価値がほとんど変わらないということです。価値が変わらない以上、際限なく、高値を買ってくれる投資家が出てくるとは考えにくい。だから、高値を買い続けてくれる人がいて成り立つ儲けの仕組みは成立しないのです。

一方、長期投資はどうでしょう。十分に分散された企業を長期間、保有していれば、全体の価値は増加します。もちろん、

日々の株価は大きく変動します。しかし、長期的に見れば短期の変動も価値の周辺で起こっていることがわかります。変動の中心となる価値は増加をしているのです。つまり、売買で儲けるのはマイナスサムのゲームですが、長期投資はプラスサムの世界なのです。



### <株価は影>

株式には価値があります。十分に分散された株式ポートフォリオの価値は長期的に増加していきます。しかし、株価はその時点の価値から上にも下にも大きくかい離します。それは投資家心理が大きく影響するからです。投資家の心理は欲望と恐怖の間をめまぐるしく行ったり来たりしています。欲望の側から光を当てると企業の価値はとて大きく見えてしまいます。一方、恐怖の側から光を当てるととてつもなく小さく見えます。そのために株価は上にも下にも大きく変動するのです。ですから、影をいくら追いかけても意味がありません。次の瞬間、影が大きくなるか、小さくなるかなどわかるものではありません。でも長い目で見れば影もやはり実体価値を中心とした動きをしているのです。



2016年5月時点のトヨタ自動車の株価はほぼ6,000円ぐらいです。同社は33億株を発行しているので、時価総額は約20兆円です。仮に1日平均で株価が1%動いたとすると、時価総額は約2,000億円変動したことになります。トヨタ自動車の2017年3月期の連結当期純利益は1.5兆円の予想です。つまり、株価が1%動くと、1日で当期純利益の約13%に相当する価値が株式市場では変動していることになります。昨日と今日で、同社の企業価値がどれだけ変化したのでしょ





## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

う。とても利益の3割が増減する大事件が毎日起きているとは思えません。これからも、所詮、株価は「影」であることがわかると思います。

昔からウォール街では、株式市場は欲望と恐怖の狭間を上っていくと言われる。恐怖の光(投資家の心理)は高いところから実体(株主価値)を照らす。すると影(株価)は小さく見える。逆に、欲望の光(投資家の心理)は下の方から光を当てるので、実体(株主価値)が大きく見える。影(株価)は、光(投資家の心理)の当て方で、上にも下にも動く。だから、影の動きに惑わされないことが極めて大切なのだ。

### <竹田和乎さんの教え>

~~~~~  
/> 上がってよし、下がってよしの株価かな(故竹田和乎氏)  
/> ~~~~~

2016年7月21日、日本最大の個人投資家と言われた竹田和乎さんが逝去されました。私も何度かお会いしました。初めて伺ったときに、事前に私の著書をお読みいただいていたことを知り感激したことを覚えています。ある時、こんなことを話していただきました。



~~~~~  
/> みんなが株を買いたがっているとき、私は持っている株を売ってあげるんです。  
/> みんなが株を売りたいがっているとき、私は持っているお金で買ってあげるんです。  
/> そうすると自然に儲かってしまうんです。(故竹田和乎さん)  
~~~~~

### <コントロールできることとできないこと>

アメリカの自由主義神学者、ラインホルド・ニーバー(Reinhold Niebuhr, 1892/6/21 - 1971/6/1)に以下のような言葉があります。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

「神よ、私が変わることのできないことを受け入れる冷静さを、変えることのできることを変える勇気を、そして、それらの違いを判断できる知恵を与えたまえ」

この言葉はそのまま資産運用の要諦を示しています。リターンは我々がコントロールできることはありません。しかし、リスク、資産配分、コストなどはコントロールできます。しかし、多くの方がコントロールできないリターンを追いかけて失敗するのです。コントロールできることをコントロールした結果として出てくるのがリターンであることをよく理解すべきです。

### <ミスター・マーケットにご用心>

証券アナリストの父と言われるベンジャミン・グレアムはミスター・マーケットの言う事を聞いてはいけないという警告を出しています。

ミスター・マーケットは非常に世話好きで、現在価値に関する自分の考えを毎日教えてくれ、さらにはその価格で持ち分を買い取っても良いし、自分の持ち分を分けても良いと言ってくる。しかし、しばしば理性を失い、常軌を逸した価格を提示することもある。  
ベンジャミン・グレアム著「賢明なる投資家」Pan Rolling 出版

ミスター・マーケットとは結局、価格の変動です。つまり、市場の動きということでしょう。グレアムさんが言っているのは価格の動きに惑わされるな。価格の動きにつられて売買をするなということです。ひたすら価値を見極め価値よりも大幅に価格が安くなっていればそれを買えばよいということです。

### <GMの企業年金発足に際しての理念>

1952年4月、GMの会長、チャールズ・ウィルソンがUAW(全米自動車労組)に、GMの従業員のための年金制度の創設を提案、同年10月に年金制度が誕生しました。この年金基金は株式を中心に運用を始めた点に大きな特徴があります。なぜ、株式が運用の中心なのか、その点について以下のような説明がされています。これはまさに株式投資の原点とも言える考え方です。

「大規模な年金はアメリカ経済(資本主義経済体制)そのもの、アメリカの生産と成長に直接投資すべき」



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

「年金は、生産手段に対する貸し付けではなく、生産手段に対する所有権に基礎を置かねばならない。しかも、その所有権は、特定の企業の所有権ではなく、アメリカという国全体の生産能力でなければならない」

P.F.ドラッカー、「見えざる革命」(ダイヤモンド社)より

これは1952年にGMが企業年金を発足した際に会長のチャールズ・ウィルソンが述べた言葉です。ここで彼は年金運用の目的を明確に「経済そのもの」に資金を投ずるということを述べています。我々の生活を支えてくれる「生産手段を所有」することが年金運用の基礎である。この時代においては「アメリカという国全体」と表現していますが、今日的には「世界全体の」と言い換えるべきでしょう。これは企業年金の運用目的であるのですが、運用の責任が個人に転嫁されつつある今日、人生を通じての資産運用を行う個人にもそのまま当てはまる考えだと思います。

<盲目の証券アナリスト(CFA)、シン・スングュさんの言葉>

株価チャートを見ることができないという「お恵み」のおかげでファンダメンタル・バリュー投資を深めることができた。(シン・スングュ氏、CFA)

韓国生まれのスングュさんは小さいころから目に障害がありました。何度も手術を受けたのですが9歳のころ、緑内障で視力を失いました。その後、ハンディキャップのある人々の教育が進んでいるアメリカに渡り、努力の末、ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学大学院で学び、JPモルガン・チェースを経て、現在はブラウン・ブラザーズ・ハリマンで債券アナリストとして活躍をしています。グローバルな証券アナリストのプロフェッショナル団体が認定するCFAの資格も全盲の方として初めて取得しています。上記はスングュさんの言葉です。全盲であるということが彼のプロとしての技量にとって「お恵み」であったと言い切れるのはすごいことだと思います。しかし、また、我々はあまりに何でも見え過ぎてそれに惑わされ過ぎているのではないかということを感じざるを得ません。

「市場に惑わされない」というテーマでお話をさせていただきました。一番大切なことは株式投資とは企業のオーナーになるという原点をしっかりと抑えることです。我々の生活を支えてくれる世界の民間企業のオーナーになることによって将来の我々の生活の支えを築くのが人生を通じての資産運用です。最後に中国の古典、「荘子」にある「混沌の死」というエピソードを紹介しておきましょう。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

### 混沌の死

南海、中央、北海にそれぞれ帝がいた。中央の帝は名前を渾沌(こんとん)といった。彼らはしばしば渾沌の領地で会合をしていた。「いつも混沌殿には手厚いもてなしを受けている。どうだろう、人間の顔には目耳口鼻の七つの穴があり、それで見たり、聞いたり、食べたり、息をしたりする。だが気の毒に、渾沌殿にはそれがない。ひとつ、お礼に顔に穴をあけて差し上げては」、「それがよい」ということで話が決まり、二人は一日にひとつずつ、渾沌の顔に穴をあけていった。そして、七日目、渾沌は死んでしまった。(荘子、応帝王)



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945年生まれ。1968年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員（調査本部長）を務める。2004年に退職。Facebook上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### 緑の黒髪とは

「緑の黒髪」、この言葉を何かの本で最初に見たとき「変な表現だなあ・・・」と思っていた。長い間、忘れていたが長じて辞書に親しむようになって本来の意味を知り、日本語の奥深さと美しさを再認識した言葉である。この場合の緑は草木の新芽、または初夏の若葉を意味している。「緑の黒髪」とは、新芽のようにつやつやした見た目に美しい髪のことだ。

せっかくの「緑の黒髪」を染めてしまう若い女性をたまに見かけるが、もったいないことである。

### ダヴィデ像の左肩に乗っているのは？

教科書でミケランジェロのダヴィデ像を初めて見たときの驚きは今でもよく覚えている。視線が画面の真ん中に釘付けになったまま、しばらくポカンとしていた。しかし、長じるにしたがって興味はダヴィデが左肩に何を抱えているかに移った。問題が解決したのは10年以上経って旧約聖書の解説書を読んだときである。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

紀元前1000年頃、イスラエル人はペリシテ人との戦いを繰り返していた。ペリシテ最強の戦士・ゴリアテは果敢にも単身でイスラエル軍の前に現れて挑発を繰り返したが、イスラエルの兵はこれを恐れた。従軍していた兄たちに食料を届けるために戦場をおとずれた少年ダヴィデは、ゴリアテの挑発を聞いて奮起し、その挑戦を受けることを決意。ダヴィデは石投げだけを持って出かけた。

ゴリアテはダヴィデを見ると「さあ来い。おまえの肉を空の鳥や野の獣にくれてやろう」と侮ったが、ダヴィデが石を投じるとゴリアテの額に当たり、ゴリアテは倒れた。ダヴィデはゴリアテが持っていた剣を引き抜いてその首を切り落とした。ペリシテ軍はこれを見て総崩れになり、追撃したイスラエル軍は勝利したのである。

ダヴィデが左肩に抱えていたのが「石投げの道具」であったことと、当時10代半ばの少年だったのが分かったとき、私はすでに20代半ばを過ぎていた。



## 破天荒

「破天荒」はメディアを中心にトップクラスで誤用されている言葉である。

「天荒」とは荒れて雑草などがはびこる天地未開の土地のこと。「破天荒」は中国・唐の時代、最難関である科挙(官吏の採用試験)の合格者が一人も出なかったために人々に「天荒」と呼ばれていた荊州から、劉蛻(りゅうぜい)という合格者が初めて出た。それを「天荒を破った」と言われたという故事による。ここから、今まで誰もなし得なかった事を成し遂げるという意味になったのである。

従って「破天荒」とは前人未到の偉業という意味が正しく、豪快で大胆な、または型破りなという意味ではない。



### 足を洗う(最初に足を洗ったのは誰?)

昔の僧は修行のために裸足で外を歩いていた。仏教の思想では、寺の中を救いの世界、寺の外を迷いの世界としていた。修行のため裸足で外を歩いた僧は、寺に入る前に足を洗うことで俗世界の煩惱を洗い清めていた。

こうした習慣から「足を洗う」は悪いことをやめる意の言葉になったのである。しかし、現在ではそこから変化して、善悪関係なく何かをやめるときに使われるようになっている。

### 元の木阿弥(の由来)

戦国時代、大和郡山の城主・筒井順昭が若くして病死、跡継ぎの息子順慶は2歳と幼少であったため、遺言どおり順昭の死を隠すことになり、替え玉を置いた。死んだ順昭の代わりに姿や声の似た貧乏な僧侶・木阿弥を寝室に寝かせて、順昭がまだ生きているように見せかけたのだ。

息子の順慶が成長をした後、順昭の死を公表したので、木阿弥は用済みとなり、殿様暮らしから、元のしがたい僧侶・元の木阿弥に戻ったという。このことから、一度は良い目にあった者が、或いは物事が元の振り出しに戻ることを「元の木阿弥」というようになったのである。

なお、筒井順慶は「洞ヶ峠」(日和見すること)の語源にもなった武将である。

### 柿(かき)と柿(こけら)の違い

本などの印刷物で見ると、「柿(かき)」と「柿(こけら)」という字の区別がつかない。それどころか、同じ字に見えてしまう。

しかし、実際は「かき」は旁(つくり)が、「市=なべぶた+巾」、「こけら」は旁の縦棒が突き抜けている。字画数だと「柿(かき)」が9画、「柿(こけら)」は8画になる。明らかに異なる字だ。

なお、「柿(こけら)」は材木を削ったときに出る切りくずのこと。新築や改装の工事の最後に、屋根などの「こけら」を払い落としたことから、完成後の初めての興行を「柿(こけら)落とし」と言うようになったのである。



かき 柿  
こけら 柿

## 下馬評(の語源)

江戸時代、上級武士は馬に乗ってお城に通っていた。城門には馬を下りる下馬先というところがあり、武士はそこから歩いて城内に入っていた。家来たちは、主人が戻ってくるまで下馬先で待っていなければならない。待っている暇な時間に彼らはうわさ話、世間話に花を咲かせたという。大名の国替えのうわさや藩内での異動など、今も昔も関心事は人事関係というわけだ。この下馬先での世間話、評判が「下馬評」の語源となったのである。

## ペンネームの由来いろいろ

- ・阿久悠:本名、深田公之(ひろゆき)・・・「悪友」をもじった。
- ・阿佐田哲也:本名、色川武大・・・麻雀狂で「朝だ、徹夜」からつけた。
- ・有栖川有栖:本名、上原正英・・・ 通学途中に目にとまった「有栖川宮邸跡」の碑がペンネームの由来。
- ・伊集院静:本名、西山忠来(帰化前はチョ・チュンレ)・・・広告代理店に入社予定だった女性のコピーライターに付けられるはずだった名前。作詞家としての名は伊達歩。
- ・泉鏡花:本名、泉鏡太郎。
- ・江戸川乱歩:本名、平井太郎・・・エドガー・アラン・ポー(Edgar Allan Poe)に由来。
- ・大佛次郎:本名、野尻清彦・・・鎌倉の大仏裏に住んでいたから。大仏を太郎とするなら、自分は次郎にあたると思った。
- ・北杜夫:本名、斉藤宗吉・・・トーマス・マンに私淑していた宗吉はマンの小説『トニオ・クレーゲ





## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ル』から「杜二夫(とにお)」とした。しかし、「二」を外して「杜夫」にし、姓は東北大医学部出身なので「北の杜」から採った。

- ・司馬遼太郎:本名、福田定一・・・中国の「司馬遷」に遼かに及ばない男(太郎)の意。
- ・城山三郎:本名、杉浦英一・・・結婚後住んだ家の住所が名古屋の城山。転居が三月だから「三郎」となった。
- ・立原正秋:本名、キム・ユンキュ・・・亡くなる2ヶ月前に改名を認められ、立原正秋が本名になる
- ・夏目漱石:本名、夏目金之助・・・中国の故事「漱石枕流」(負け惜しみの強い意)から。
- ・西村京太郎:本名、矢島喜八郎・・・「西村」は尊敬する先輩の名前、「京」は東京生まれで「太郎」は長男だから。
- ・新田次郎:本名、藤原寛人・・・出身地である長野県上諏訪角間新田(しんでん)出身の次男という意味。
- ・藤沢周平:本名、小菅留治・・・藤沢は妻の実家のある地名から(鶴岡市藤沢)。「周」の字は妻の親族の名前から採った。
- ・樋口一葉:本名、樋口なつ・・・「一葉」というのは達磨が乗って渡海した蘆(芦)の一葉にちなんだもの。
- ・二葉亭四迷:本名、長谷川辰之助・・・小説嫌いの父(江戸詰めの尾張藩士)から「くたばってしめえ」と言われたことから。
- ・三島由紀夫:本名、平岡公威・・・三島を見出した国文学者の清水文雄が命名。修善寺への編集旅行の際、「三島」を通ったこと、富士を見て「ゆき」を連想したという。
- ・森鷗外:本名、森林太郎・・・「舞姫」を発表したとき、友人の斉藤勝寿から「鷗外」の号を借用したもの。



### 中国がわかるシリーズ 34 王安石の改革(上)

ライフネット生命保険株式会社  
代表取締役会長兼 CEO、出口 治明氏

宋では、6代、20歳の神宗(1067~1085)が即位しました。100万人を超す常備軍(主として大夏対策)や肥大化した官僚組織により財政は圧迫され、また、順調な経済成長の裏では、貧富の差が拡大していました。形勢戸と呼ばれる富裕な農民や、科挙の合格者を出した官戸が新たな特権階級となりつつあったのです。

神宗は、嘗て「万言書(上奏文)」を提出(1058年)して政治改革を訴えた王安石を抜擢して国政改革に当たらせることにしました。これが、有名な、新法です。稀代の名宰相、王安石は、零細農民や商人を救う(=中産階級を育成する)ことを主眼とした壮大な富国強兵策を打ち出しました。しかし、新法は、大地主や大商人の特権を奪うものでしたので、既得権を主張する側は、司馬光を首領に押し立て(旧法党)激しく抵抗しましたが、新法は画期的な政策だったので、経済は空前の活況を呈しました。青苗法によって、農村にまで貨幣が行き渡り、マネーサプライが増加したのです。宋銭は、東アジアの共通貨幣として、わが国でも広く流通しました。

新法の特徴は、政府の全ての政策について、整合的な具体案(緻密な制度設計)が用意されていることであり、王安石の宰相としての傑出した能力の高さが窺えます。王安石は、おそらく、世界史上、最高の宰相の1人に数えられるでしょう。これに対して、旧法党は、思想や政策もバラバラで、反新法以外の共通項を見出すことは困難です。なお、主な新法は、概ね次のとおりです。

苗法(零細農民に地主より低利で種籾を貸し付け、破産や小作農への零落を防ぐ)、均輸法(江南から開封に運ばれる物資について、大商人の買占めを防止するため、国家が関与して、物価を安定させる)、市易法(青苗法の対商人版)、募役法(保有資産に比例して銭納させ、労役者を雇う制度。地方の有力者は、コネ等によって従来の労役を逃れていたのです)、保甲法(常備軍を補完する治安維持組織の立ち上げを狙ったものです。10戸を1保、5保を1大保、10大保を1



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

都保＝1単位、保甲、として、戸の中で2人以上成人男子のいる戸より、1人の兵士を出す仕組みです)、科挙の改革(これまでの詩賦重視の傾向を改め、より実務的な経書の解釈を中心とする制度に切り換えた上で、自ら経書の注解書を作成、配布)、中央と地方の学校制度の整備(科挙は人材登用、学校は人材育成)、官制改革(簡素化)、礼制改革(天と地を天壇と地壇で別に祀り、後の神さまは簡素化)。

王安石は、「周礼」を論拠としましたが、法家的、実務的な発想が濃厚に漂っています。これに対して、司馬光は、儒家的、理念的な論陣を張りました。即ち、新法は、政府が(低利融資などで)商売をするものであって、儒教の理念にそぐわないと反対したのです。



### I-OWA マンスリー・セミナー・夏休み特別企画 「大人と子供のためのマネー教室」講演より ピギーちゃんのハッピー・マネー®教室

講演：岡本 和久  
レポーター：赤堀 薫里

3年前、シカゴから来たピギーちゃんは、ブルー、ピンク、グリーン、金色(ブライト・イエロー)と4種類の色があります。普通の貯金箱は穴が一つ。ピギーちゃんの背中には四つの穴があり、お腹は四つの部屋に分かれています。四つの部屋はSAVE(ためめる)、SPEND(つかう)、DONATE(ゆずる)、INVEST(ふやす)に分かれ、それぞれに入れたお金は四本の足につながっています。

この貯金箱はマネー・サビー・ジェネレーションという会社が作ったものです。アメリカでは3歳から使用するマネー教育素材です。子供たちは、お小遣いを使う時に、四つの用途に分けて使うことを、小さい時から練習をしていきます。

さて、「お金はどうして大切なのでしょう。」お金がないと生活ができません。お金があったら何でも好きなものが買えます。でも、もしお金が沢山あっても、無人島に1人で住んでいたら生活できません。



お金は、自分の欲しいものと交換できるからこそ価値があります。お金で買えるものには2種類あります。一つ目は、商品(モノ)、二つ目はサービス(必要なことをしてもらえる)が買えます。自分にとって、嬉しいこと、助かることを誰かが与えてくれた時に「ありがたい」と思うので、自分の持っている大事なお金を、相手に渡します。つまり、お金は「感謝のしるし」なのです。

お金はどうして銀行のATMから出てくるのか考えてみましょう。ある人が、チョコレート会社で働いています。毎日朝から晩まで美味しいチョコレートを生懸命作っているので、会社は労働に対す



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

る感謝のしるしとして、月給を銀行に振り込みます。だから、ATM からお金が出てくるのです。チョコレート会社は、作ったチョコレート売るお店にチョコレートを卸します。お店は、このチョコレートで商売ができて嬉しいので、代金を払います。お店にチョコレートを買いに来た人は、美味しいチョコレートが食べられて嬉しいのでお金を払います。このようにお金は、感謝と一緒にぐるぐる世の中を回っています。

みんなが美味しいと思うチョコレートは多くの人を買ってくれます。その結果、その会社には、お金がたくさん集まります。そのお金を使い、もっと美味しいチョコレートを作り、販路も拡大できます。みんなが美味しいと思ってチョコレートをかうことは、実はその会社を応援していることなのです。ちょうど、選挙で投票しているのと同じです。



チョコレートは、カカオで出来ています。カカオの実を取り出して袋に詰めたものを、トラックに載せて港に運びます。港で日本の商社マンがその豆を買いつけ、船で日本まで運びます。港に着くとまたトラックに載せてチョコレートの工場へ運びます。工場でチョコレートを作り、出来たチョコレートをトラックに載せてお店に持って行きます。そこでチョコレートが売られます。板チョコ一枚 100 円の中には、チョコレート作りに関係する全ての人達の「美味しいチョコレートを作りたい」という気持ちが入っています。チョコレートだけではなく我々の生活に必要な品物やサービスの全部が、お金によってつながっています。みんなが協力しあって作っているから我々は生活できるのです。だから、世界は平和でなければいけないのです。

お金はどのようにして出来たのでしょうか。お金の歴史を紐解いてみます。お金が無い時代は、自分で作ったもので生活をする自給自足の時代でした。それからお互いが作っているモノを物々交換するようになり、更に大勢の人が集まって、決まった日時に自分の持っているモノを交換する市ができるようになりました。

そして、交換が便利になるようにと、自分が持っているモノをみんながいつも欲しいものに換えておくようになりました。それらは米や、布、綺麗な貝等でした。市の開催時には、お米や布を持って行き、自分の欲しいものと交換します。その後、様々な種類のお金が誕生し、使われるようになりました。その後講演では、銀行ができるまでの歴史や、日銀の役割、金本位制を経て現在の信用に基づく紙幣発行への変遷をわかりやすく解説いただきました。



### I-OWA マンスリー・セミナー・夏休み特別企画 「大人と子供のためのマネー教室」講演より

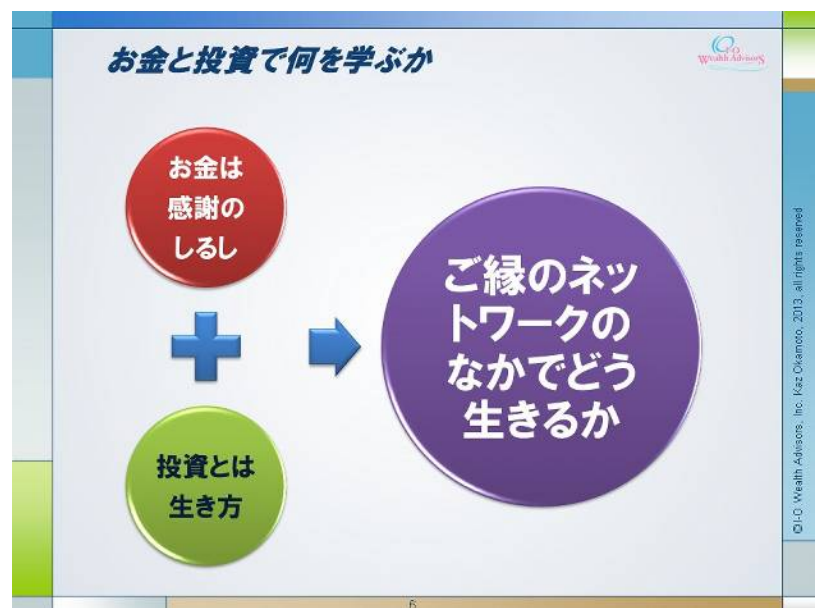
#### 子どもへの金銭教育を考える

講演： 岡本 和久

レポーター： 赤堀 薫里

中学や高校で、出張授業を通じて子ども達に金銭教育をしていく中で気付いたことは、子ども達は「お金は汚い」、「お金持ちは悪い人」というイメージを持っている子が多いということです。私の前職であるアメリカの年金運用会社のトップは、「我々は世の中にとっていいことをすることで、我々のビジネスは上手くいく」と、いつも言っていました。皆にとっていいことをすることで、結果、我々の所に報酬としてお金がくるわけです。

お金に対するイメージをきちんと作り直していかなければならないと強く感じています。一番大切なことは、「子どもだからわからないだろう」と考えないことです。金銭教育は、基本的に家庭でやるものであり、学校はある意味、金銭と最も縁遠い所にあります。家の中は、お金の重要性が非常に大きな場所です。その中で、出来る範囲で子ども達に情報公開をして、如何にお金と生活の関係を考えさせていくかが大切でしょう。



例えば、子ども達が「あれも欲しい。これも欲しい」と言った場合、予算というものがあるということを知ってあげることが効果的でしょう。とにかく子どもとのコミュニケーションは大切です。高校生でもどうしてATMからお金が出てくるのかわからない子が多いのです。ATMはただ単にお金が出る機械ではなく、その後ろに働いている保護者がいることを、大人がお金を引き出す時に一言伝えることが大切です。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

子ども達に金銭教育をするのに早すぎることはありません。そのためにも、保護者自身がお金に対するイメージをしっかり持つことが大切です。経済・お金(金融)、投資などは生きていく上での必須科目であり、絶対必要なことなのに家庭でも教えない。学校でも教えない。これはおかしいことですね。お金に対してポジティブに向き合い、幼い頃からきちんと考えさせることは、非常に重要なことです。

経済学もその基本はとても我々に関係が深いのです。経済学の一番の基本テーマは希少性。人間は常に欲望を持っています。その欲望は人間が作れる生産力を上回っています。当然トレードオフが必要になってきます。一方を選択した場合一方を諦めなければならない。諦める結果、機会費用が発生します。同時に、生産性を如何に増やしていくのかが重要です。技術革新もありますが、同時に分業や国際協力も効果的です。だからみんな仲良く平和な世界を創ることが豊かさを生むのです。また、希少性が教えてくれることには、知足(足るを知る)もあります。際限なく自分だけが欲望を満たそうとするのではなくみんなが幸せになれるような心遣いをする。

トレードオフ、機会費用は自己責任です。自分で選んだことで機会費用が発生したらそれを受け入れる。そして、分業や国際協力は、人と仲良くしないと分業はできないし、平和でないと、国際協力はできません。このような基本的なところが、経済学を学ぶ上で非常に重要なポイントですし、家庭でも教えていきたいところです。

お金は感謝のしるしです。我々はお金が築くご縁のネットワークのなかで生きています。そのネットワークという血管の中をお金と感謝が手に手を取って廻っているのです。皆が助け合い、つながりあっていく絆の中で我々は生きています。投資とは時間の使い方であり、それはそのまま生き方です。今、我慢して、将来に向けて喜びを大きくしていく。それはつまり、ご縁のネットワークの中で人生をどう生きるかということにつながっています。

このあと講演では、ピギーちゃんのハッピー・マネー<sup>®</sup>四分法、よりよい世の中をつくるための金遣いの王道についての解説や、今の時代の「いのちよし、地球よし、未来よし」という「新三方よし」などについてお話しがありました。

また保護者にとって、悩ましいお小遣いの考え方について、ジュニア NISA をマネー教育の機会として捉えることなど、示唆に富んだお話をいただきました。最後に最良の教育とは、その子の人生最後の日に子どもが「いい人生だったな」と思えるようにすること。金遣いの王道とは、感謝されてお金を稼ぎ、世の中をよくするためにお金を使い、皆を喜ばせ笑顔を増やしていくことであると結ばれました。

# <モデルポートフォリオ:2016年9月末の運用状況>

単位：%

|      |     | トータルリターン |       |            |             | リスク         | 1万円ずつ積み立てた場合の<br>投資額に対する騰落率 |            |              |                       |
|------|-----|----------|-------|------------|-------------|-------------|-----------------------------|------------|--------------|-----------------------|
|      |     | 1か月      | 1年    | 5年<br>(年率) | 10年<br>(年率) | 10年<br>(年率) | 1年<br>12万円                  | 5年<br>60万円 | 10年<br>120万円 | 2000年1月<br>~<br>201万円 |
| 4資産型 | 積極型 | -0.71    | -4.11 | 14.55      | 2.44        | 16.96       | -3.75                       | 25.35      | 42.54        | 56.56                 |
|      | 成長型 | -0.79    | -3.46 | 11.24      | 2.74        | 12.09       | -3.29                       | 18.92      | 33.56        | 49.31                 |
|      | 安定型 | -0.87    | -3.04 | 7.84       | 2.78        | 7.64        | -2.89                       | 12.72      | 24.38        | 40.29                 |
| 2資産型 | 積極型 | -1.46    | -5.14 | 15.31      | 3.38        | 19.09       | -4.22                       | 22.88      | 43.73        | 65.75                 |
|      | 成長型 | -1.46    | -5.79 | 12.02      | 3.27        | 14.19       | -4.51                       | 17.17      | 34.20        | 56.18                 |
|      | 安定型 | -1.46    | -6.61 | 8.68       | 2.90        | 9.86        | -4.83                       | 11.63      | 24.54        | 44.77                 |

\* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2015年9月末に1万円投資資金を積み立て始め、2016年8月末の投資資金までとする(2016年9月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。

出所: イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール( <https://www.matonavi.jp/inquiry> )にてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンまで。

## ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

| 4資産型 |     | 国内株式:<br>TOPIX               | 外国株式:<br>MSCI<br>KOKUSAI | 国内債券:<br>NOMURA-<br>BPI<br>(総合) | 外国債券:<br>Citi WGBI<br>(除く日本) |     |
|------|-----|------------------------------|--------------------------|---------------------------------|------------------------------|-----|
|      |     | 積極型                          | 40%                      | 40%                             | 10%                          | 10% |
| 成長型  | 25% | 25%                          | 25%                      | 25%                             |                              |     |
| 安定型  | 10% | 10%                          | 40%                      | 40%                             |                              |     |
| 2資産型 |     | 世界株式:<br>MSCI ACWI<br>(含む日本) |                          | 世界債券:<br>Citi WGBI<br>(含む日本)    |                              |     |
|      |     | 積極型                          | 80%                      | 20%                             |                              |     |
|      |     | 成長型                          | 50%                      | 50%                             |                              |     |
|      |     | 安定型                          | 20%                      | 80%                             |                              |     |

ポートフォリオは「インベストラ이프」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。  
特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストラ이프』のその他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

### 4資産

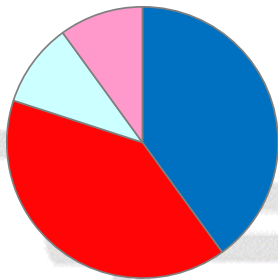
■ 国内株式:  
TOPIX

■ 外国株式:  
MSCI KOKUSAI

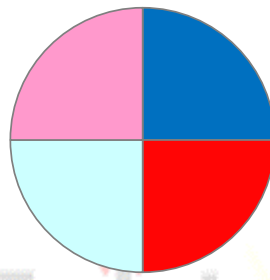
■ 国内債券:  
NOMURA-BPI  
(総合)

■ 外国債券:  
Citi WGBI  
(除く日本)

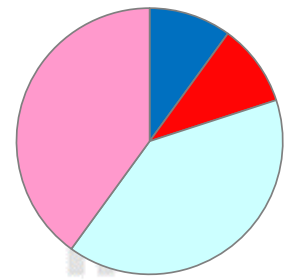
### 積極型



### 成長型



### 安定型

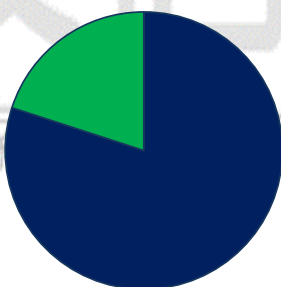


### 2資産型

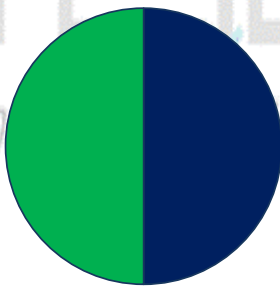
■ 世界株式:  
MSCI ACWI  
(含む日本)

■ 世界債券:  
Citi WGBI  
(含む日本)

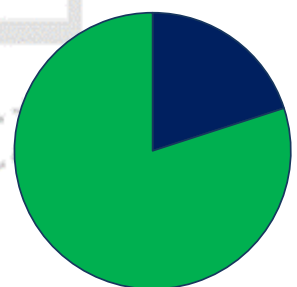
### 積極型



### 成長型



### 安定型





## <純資産上位ファンド(毎月および隔月決算型を除く):2016年9月末の運用状況>

当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。  
※ファンド名をクリックすると「投信まとなび」でそのファンドを見ることができます。

「長期投資仲間」通信「インベストライフ」の  
その他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

| 今回順位 | 前回(16年6月末)順位 | 運用会社名    | ファンド名                                    | トータルリターン |        |        |         | リスク   | 1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率 |        |        |          | 1万円ずつ積み立てた場合の月末資産額 |        |        |          | 2016年9月末      |         | イボットソン分類      |
|------|--------------|----------|------------------------------------------|----------|--------|--------|---------|-------|-------------------------|--------|--------|----------|--------------------|--------|--------|----------|---------------|---------|---------------|
|      |              |          |                                          | 1ヵ月      | 1年     | 5年(年率) | 10年(年率) |       | 10年(年率)                 | 1年12万円 | 5年60万円 | 10年120万円 | 2000年1月~201万円      | 1年12万円 | 5年60万円 | 10年120万円 | 2000年1月~201万円 | 純資産(億円) |               |
| 1    | -            | 日興AM     | グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)                | -1.00    | 6.85   | -      | -       | -     | 0.58                    | -      | -      | -        | 12.07              | -      | -      | -        | 3,650.0       | 9,860   | 外国株式・世界型      |
| 2    | 1            | フィデリティ投信 | フィデリティ・日本成長株・ファンド                        | 1.64     | 1.69   | 13.85  | 0.33    | 20.62 | -2.08                   | 29.70  | 38.76  | 39.65    | 11.75              | 77.82  | 166.51 | 280.70   | 3,296.5       | 17,642  | 国内株式・大型ブレンド型  |
| 3    | 2            | 三菱UFJ国際  | グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド                     | -2.05    | -10.17 | 24.38  | 7.04    | 20.88 | -10.22                  | 47.62  | 97.89  | -        | 10.77              | 88.57  | 237.46 | -        | 2,802.6       | 8,212   | 外国株式・世界型      |
| 4    | 3            | さわかみ     | さわかみファンド                                 | -0.90    | -2.23  | 12.42  | 0.73    | 20.33 | -2.71                   | 26.61  | 35.51  | 49.67    | 11.67              | 75.97  | 162.61 | 300.84   | 2,655.6       | 19,287  | 国内株式・大型ブレンド型  |
| 5    | 4            | 日興AM     | インデックスファンド225                            | -1.98    | -4.09  | 15.06  | 1.43    | 21.57 | -3.90                   | 29.25  | 44.70  | 50.65    | 11.53              | 77.55  | 173.64 | 302.80   | 2,375.3       | 4,506   | 国内株式・大型ブレンド型  |
| 6    | 5            | 三井住友トラスト | コア投資戦略ファンド(成長型)《コアラップ(成長型)》              | -0.18    | -3.97  | -      | -       | -     | -3.09                   | -      | -      | -        | 11.63              | -      | -      | -        | 1,956.1       | 11,383  | アロケーション・やや積極型 |
| 7    | 7            | AM One   | 日経225ノーロードオープン                           | -1.99    | -4.46  | 14.56  | 1.03    | 21.50 | -4.07                   | 27.63  | 41.54  | 45.52    | 11.51              | 76.58  | 169.85 | 292.49   | 1,727.9       | 11,188  | 国内株式・大型ブレンド型  |
| 8    | 6            | 三菱UFJ国際  | 三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型)                   | 0.22     | 6.61   | 19.09  | 5.44    | 23.09 | -1.47                   | 43.36  | 80.13  | -        | 11.82              | 86.02  | 216.16 | -        | 1,692.6       | 6,043   | 国内REIT        |
| 9    | 8            | AM One   | MHAM株式インデックスファンド225                      | -1.97    | -4.21  | 15.00  | 1.34    | 21.49 | -3.97                   | 28.97  | 44.14  | 49.58    | 11.52              | 77.38  | 172.97 | 300.66   | 1,659.4       | 3,040   | 国内株式・大型ブレンド型  |
| 10   | -            | 日興AM     | グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)               | -1.01    | 6.86   | -      | -       | -     | 0.58                    | -      | -      | -        | 12.07              | -      | -      | -        | 1,490.3       | 9,861   | 外国株式・世界型      |
| 11   | 22           | 野村AM     | 野村インド株投資                                 | -2.89    | -7.55  | 12.70  | 4.27    | 35.52 | -0.68                   | 31.72  | 38.76  | -        | 11.92              | 79.03  | 166.51 | -        | 1,473.9       | 19,608  | 外国株式・インド型     |
| 12   | 9            | 野村AM     | 日本企業価値向上ファンド(限定追加型)                      | 1.21     | -3.62  | -      | -       | -     | -5.27                   | -      | -      | -        | 11.37              | -      | -      | -        | 1,457.7       | 8,813   | 国内株式・大型ブレンド型  |
| 13   | 10           | 三井住友AM   | 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし) | -1.62    | -9.35  | -      | -       | -     | -6.95                   | -      | -      | -        | 11.17              | -      | -      | -        | 1,363.9       | 9,864   | アロケーション・標準型   |
| 14   | 11           | 三井住友トラスト | コア投資戦略ファンド(安定型)《コアラップ(安定型)》              | -0.24    | -2.53  | -      | -       | -     | -1.89                   | -      | -      | -        | 11.77              | -      | -      | -        | 1,318.2       | 10,613  | アロケーション・標準型   |
| 15   | 12           | AM One   | グローバル・アロケーション・オープンBコース(年4回決算・為替ヘッジなし)    | -1.54    | -9.18  | -      | -       | -     | -6.85                   | -      | -      | -        | 11.18              | -      | -      | -        | 1,299.8       | 8,496   | アロケーション・TAA型  |
| 16   | 13           | ニッセイAM   | ニッセイJPX日経400アクティブファンド                    | 2.25     | -4.22  | -      | -       | -     | -5.78                   | -      | -      | -        | 11.31              | -      | -      | -        | 1,176.1       | 9,059   | 国内株式・中小型成長型   |
| 17   | 14           | セゾン投信    | セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド                  | -1.50    | -6.77  | 11.29  | -       | -     | -5.49                   | 15.17  | -      | -        | 11.34              | 69.10  | -      | -        | 1,124.8       | 11,958  | アロケーション・やや積極型 |
| 18   | 16           | ニッセイAM   | ニッセイ日経225インデックスファンド                      | -1.95    | -3.93  | 15.30  | 1.66    | 21.60 | -3.77                   | 30.08  | 46.40  | -        | 11.55              | 78.05  | 175.68 | -        | 1,064.8       | 17,868  | 国内株式・大型ブレンド型  |
| 19   | 18           | 三菱UFJ国際  | トレンド・アロケーション・オープン                        | -0.60    | 3.52   | -      | -       | -     | 1.94                    | -      | -      | -        | 12.23              | -      | -      | -        | 1,038.0       | 11,673  | アロケーション・TAA型  |
| 20   | 15           | 野村AM     | 野村日本企業価値向上オープン(米ドル投資型)                   | -0.69    | -19.61 | -      | -       | -     | -15.03                  | -      | -      | -        | 10.20              | -      | -      | -        | 1,001.9       | 6,930   | 国内株式・その他      |

対象は追加型株式投資信託のうち2016年9月末時点で1年以上の運用実績があるもの(毎月・隔月決算型、ETF・DC・SMAなど専用投資信託を除く)。

積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとします。例えば1年の場合は2015年9月末に1万円で積み立てを開始し、2016年8月末投資までの2016年9月末における運用成果とする(2016年9月の積み立て額は入れない)。

出所:MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール(<https://www.matonavi.jp/inquiry>)にてお気軽にご送信ください。

※10月1日に「DIAM、みずほ投信、新光投信」の3社間での統合が行なわれ、新会社「アセットマネジメントOne」となりました。当資料の運用会社は統合後の新会社名での表記となっております。

Copyright ©2016 Ibbotson Associates Japan, Inc.